

わたしがつくる 「つぎの防災・減災」



3.11 MON 企画展示 11:30-20:15 信毎メディアガーデン
ワークショップ 18:00-20:00 1階 ホール [松本市中央 2-20-2]

メディア×防災減災



わたしがつくる「つぎの防災・減災」

最近の自然災害発生時においては、「今まで経験したことがない」と常に言われるほど、被害が甚大になる傾向が増えています。過去の経験によるマニュアルに頼るだけでなく、市民自らがその場で考え行動することが求められています。ワークショップでは、長野県内の災害を題材に、メディアが何を伝えたのか、情報がどの様にアーカイブされ活用されているのかを、メディア関係者や研究者に伺い、今後の防災/減災の可能性をみなさんと考えてみませんか？

▶▶▶ 詳細・参加のお申込みは裏面詳細



2014年神城断層地震震災アーカイブについては ⇒ <http://kamishiro.shinshu-bousai.jp/>

開催概要

日時 3月11日(月) 18:00~20:00
(企画展示 11:30~20:15)

会場 信毎メディアガーデン 1F ホール

対象 一般の方、どなたでも。

(お昼休みや会社帰りに、気軽にお立ち寄りください。)

定員 100名(事前申込みをお願いいたします。)
※企画展示については申込み不要。

参加費 無料

プログラム

11:30~ 企画展示 (20:15まで)

17:15 ワークショップ受付開始

18:00 はじめに/今回の開催にあたり

18:05 イントロダクション(60分)

【災害時の記録と報道からみるメディアの使い方】

講師: 信濃毎日新聞 編集委員 長戸文秀氏
松本本社報道部写真記者 米川貴啓氏

【防災減災につなげるためのアーカイブ
~2014年神城断層地震~】

講師: 信州大学教育学部 教授 廣内大助氏

【ラップアップ】

ファシリテーター: 大阪大学全学教育推進機構 中村征樹氏

19:05 ワークショップ(45分)

テーマ: わたしがつくる「つぎの防災・減災」

ネットワークが個々を繋げていく時代。あたらしい動きが次の可能性を開きます。この場にいるみなさんの知を繋げることで、つぎに繋がる「防災・減災」について、みなさんで考えたいと思います。

19:50 まとめ、おわりに

※ワークショップグラフィックレコーダー: 中尾有里氏

【企画展示】11:30~20:15

これまでの記録写真や新聞記事、2014年神城断層地震震災アーカイブなどを中心に展示します。今回だけの特別な内容となっていますので、是非、『3.11の日』に足をお運び下さい。

ワークショップ申込み方法

企画展示については申込み不要です。

 <https://www.shinshu-u.ac.jp/project/livinglab/>

参加お申し込みは上記 WEB ページからお申込みください。 ※こちらからも→



 E-Mail: living-lab@shinshu-u.ac.jp

お名前・連絡先・参加人数を入力の上、上記アドレスへ送信してください。

 FAX 0263-37-2076

以下にご入力の上、上記へ FAX 送信してください。

フリガナ
お名前

メールアドレス

電話番号

参加人数

人

アクセス

信毎メディアガーデン 1F ホール

松本市中央 2-20-2



主催: 信州大学 地域防災減災センター 信州大学 教育学部
信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 信州リビングラボ事業
信濃毎日新聞社

お問い合わせ

信州リビング・ラボ事務局

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
信州地域技術メディカル展開センター1階
TEL: 0263-37-2067 FAX: 0263-37-2076
E-Mail: living-lab@shinshu-u.ac.jp



信州大学創立70周年
旧制松本高等学校100周年記念事業

